

“ニッポンの野菜不足をゼロにする”を目指し子どもの野菜嫌い克服にチャレンジ
放課後 NPO アフタースクールと協働で、連携子育てプロジェクト



2019年度は全国 50 校にて実施！

『おいしい！野菜チャレンジ2020』全国60拠点へ

2020年度実施概要のお知らせ

カゴメ株式会社（代表取締役社長：山口 聡、本社：愛知県名古屋市）と放課後 NPO アフタースクール（代表理事：平岩国泰、所在地：東京都港区）は、2018年4月に立ち上げた子どもの野菜嫌い克服を目指す連携子育てプロジェクト『おいしい！野菜チャレンジ』プログラムを、2018年関東での20校から2019年の全国50校に拡大し実施中です。2019年12月末までに40校が終了、今年2月までに50校が終了致します。2020年度は、実施校をさらに拡大し、全国60カ所で、「おいしい！野菜チャレンジ2020」を展開致します。

給食の残食率を減らし、バランスよく栄養を摂取し、将来に向けての体づくりの大事な小学生の時期に野菜嫌いを克服してほしいという思いで開始したこのプログラムでしたが、「野菜って楽しい、面白い、食べたい」と思えると小学生の児童たちからも好評を得ています。2019年には「キッズデザイン賞」も受賞致しました。

初年度は関東地区で**20校854名**、2019年度は12月現在**40校2,000名**以上の小学生にお届け、**90%以上の満足度**をいただいております。

■「おいしい！野菜チャレンジ」プロジェクトとは

本プロジェクトは、保護者・学校の共通の「困りごと」であり、野菜不足要因の1つである「食経験による野菜嫌い」を課題と位置づけ、「野菜を食べることができたときの達成感」をテーマとしてスタート致しました。

カゴメの持つ野菜の知見や野菜をおいしく加工する技術と、「子どもたちの自己肯定感や、チャレンジ意欲を育てたい」という想いを持つ教育現場の経験豊富な放課後 NPO アフタースクールの強みを掛け合わせ、子どもたちの「野菜嫌い克服」と、未来に向けた「野菜不足ゼロ」を目指して、今後も取り組んでまいります。

「おいしい！野菜チャレンジ」プログラム内容

- ・プログラム内容：野菜をおいしいと思う食体験や野菜を知ることは楽しいと思える体験を通して、野菜好きのきっかけをつくる五感を使った体験型の食育授業
【野菜に触れる】クイズ形式で楽しく、野菜の旬、成り立ち、栄養など、意外と知らない野菜の「ヒミツ」を学びます。
【野菜を使ったオリジナルジュース作り】グループワークを交えて実際に野菜を味わいながらジュース作りにチャレンジ
- ・プログラム実施時間：90分



※「おいしい！野菜チャレンジ」プログラム

<http://www.npoafterschool.org/yasai-challenge>

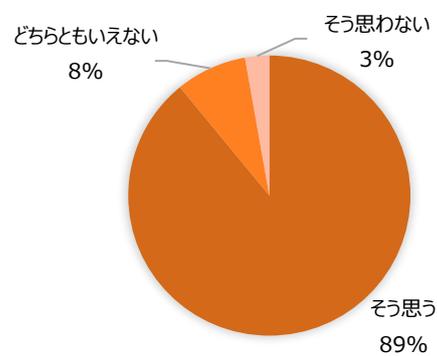
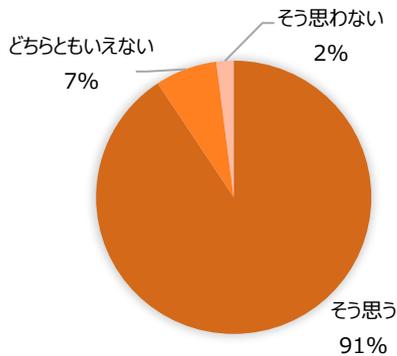
■ 2019 年度実施分 途中経過報告

- ・実施時期：2019 年 7 月～12 月
- ・実施場所：全国小学校授業時間 及び 放課後活動 学童クラブ等 40 校
- ・実施校：40 校
- ・参加児童：約 2,000 名

<プログラム実施後アンケート結果>

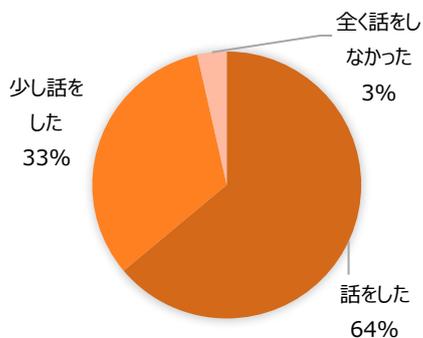
●参加した子ども

Q.自分やみんなのためにもっと野菜が必要だと思いますか？ Q.野菜を知ることは楽しいと思えましたか？



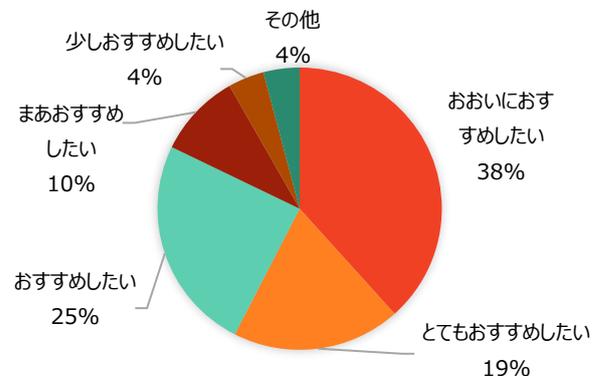
●保護者

Q.おうちでお子さんとプログラムの話をしましたか？



●実施小学校教員・学童クラブスタッフより

Q.今回のプログラムを他の学校や教育機関に
おすすめしたいと思いますか？



●フリーコメント抜粋

- ・今までこんな授業したことがないくらい楽しかった。(Hさん 2年生)・いろいろな野菜を知って野菜と友達になれた (Aくん 3年生)
- ・みんなと協力しているんな体験ができたから (Kくん 5年生)
- ・みんなでジュースをつくらったりクイズをしたりいろんなことが楽しかった (Mさん 4年生)
- ・今まではジュースでも野菜が入っていると飲まなかったのに、今日は帰ってきてすぐに自分から飲みたがり、何の野菜が入っているか見ながら飲んでいました。(Sさん 2年生お母さま)
- ・野菜に対して興味が出てきました。季節の野菜、旬の野菜を知れる、またその味がわかる良い機会になったのではないかと思います。(Sくん 1年生お母さま)
- ・帰宅後に「あしたはピーマンの肉詰めにして」と言ってきました。いつもは作ってもピーマンをほとんど食べないけれど、チャレンジしてみたくなったそうです。(Tさん 3年生お母さま)
- ・もともと野菜が好きですが、今まで食べたことのない野菜を食べてみたいと話していました。(Aさん 2年生お母さま)
- ・とても楽しかった。クイズの時間、本物の旬の野菜にふれたり、ジュースを作ることで友達と一緒に考えることをしたり、生活科の教材(学校ではできない)にないもので、野菜に感心を持つことができ良かったと思います。(Y小学校 I先生)
- ・子ども一人一人が楽しそうに野菜について知っていて、食育といった面からみても良いと感じました。(T学童 K先生)

調査対象：プログラム実施後アンケート(放課後 NPO アフタースクール調べ)(2019年7月～10月)

集計人数：26校 参加した子供 1260人 保護者 802人 団体担当者 73人

■ 2020 年度実施概要

「おいしい！野菜チャレンジ2020」プログラム概要

- ・実施時期：2020年7月～2021年3月
- ・実施エリア：全国小学校授業時間 及び 放課後活動学童クラブ等 60校
- ・定員：40名（最大）／1回
 - ・実施時間：90分間を予定
- ・募集期間 第一次募集 2020年1月14日より 2月28日を予定
第二次募集 2020年4月13日より 5月29日を予定
(現状の予定であり、やむを得ず変更になることがあります)
- ・「おいしい！野菜チャレンジ」プログラム（募集要項等 1月14日より公開）
<http://www.npoafterschool.org/yasai-challenge>

■ 連携団体：放課後 NPO アフタースクール

子どもたちの健やかな成長のために～放課後改革に挑戦～
昨今、学童保育の不足が社会課題として深刻化。子どもにとっての学びある豊かな時間が保証されていない現代の放課後は、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感を低下させています。

私たちは、学校施設を活用し、地域の大人＝「市民先生」と共に本物の技や知恵を子どもたちに届けるアフタースクールを展開。また、様々な企業等と協働し、社会全体で子どもを育てることに挑戦しています。

(年間のべ 20万人以上の子どもが活動に参加)

アフタースクール開校数：20校／連携企業 200社以上／市民先生 5,000人以上

特定非営利法人放課後 NPO アフタースクールHP <http://npoafterschool.org/>

アフタースクール、全国で！



■ 参考：カゴメが考える「野菜嫌い対策 3つのポイント」

「子どもたちに、おいしく野菜を楽しんでほしい」。そんな想いからスタートした本プログラムのテーマは「チャレンジ」です。カゴメは、楽しく野菜を食べることに挑戦し、達成感を感じることが、子どもたちの野菜好きを育てると考えています。プログラム提供と合わせて、無理なくできる工夫のヒントをお届けし、ご家庭での「チャレンジ」も応援します。

ポイント① 野菜嫌いな子どもには、「無理なく」「少しずつ」

ポイント② うれしい気持ちや喜びから、食べ物が好きになることも

ポイント③ 味付けや調理の工夫で、野菜のクセをやわらげる

➤ カゴメHP

<https://www.kagome.co.jp/statement/syokuiku/love/yasai-kirai/>



<報道機関向けのお問い合わせ先>

カゴメ株式会社 経営企画本部 経営企画室 広報グループ 鶴田、北川

TEL：03-5623-8503

特定非営利法人放課後 NPO アフタースクール 岩名

TEL：03-6721-5043 / 070-1265-7704 MAIL:kikaku@npoafterschool.org